

北陸地方を中心としたポリスチレンの資源循環推進に関する 事業連携協定 調印式のご案内

環境開発株式会社（代表取締役 高山 盛司、以下「環境開発」）は、東洋スチレン株式会社（代表取締役社長 石塚 賢二郎、以下「東洋スチレン」）と連携し、北陸三県（石川県・富山県・福井県）および岐阜県、滋賀県（以下「域内」）から排出される使用済みポリスチレン製品を、ケミカルリサイクル（※1）により再生し、新品同様の樹脂や製品原料として再び域内へ戻す「ポリスチレン資源循環推進事業」に取り組みます。

本事業の開始にあたり、両社による事業連携協定の調印式を以下の通り執り行います。

■ ポリスチレンの資源循環推進に関する事業連携協定 調印式

本事業連携を強固なものとし、地域社会の資源循環を加速させるため、以下の日程で調印式を開催いたします。

開催日時：2026年2月3日（火） 14:00～

開催場所：ANAクラウンプラザホテル金沢 3階「瑞雲」

登壇者：

東洋スチレン株式会社

- ・代表取締役社長 石塚 賢二郎 様
- ・執行役員管理本部長 浦 守 様
- ・技術本部長兼サステナビリティ本部長 高橋 淳 様
- ・研究所長 齊藤 岳史 様
- ・サステナビリティ本部本部長補佐 金子 知弘 様

環境開発株式会社

- ・代表取締役 高山 盛司
- ・取締役 金子 仁哉
- ・取締役 府中屋 智博
- ・執行役員統括部長 野澤 悟
- ・工場長 島崎 隼人

株式会社パイロが全体設計および資源循環ループの構築を支援する本事業では、環境開発が域内から排出される使用済みポリスチレン製品を回収し、ケミカルリサイクル用原料へ加工後、東洋スチレンが保有するケミカルリサイクルプラントへ供給します。東洋スチレンはケミカルリサイクル技術により樹脂に再生し、製品原料として域内のプラスチック加工メーカーなどへ販売します。東洋スチレンの販売に関しては廃棄プラスチック回収を通じて域内に幅広い顧客網を持つ環境開発が橋渡しを行います。

本事業により、従来は汚れやコンタミで焼却処分せざるを得なかった廃棄プラスチックをケミカルリサイクルにより、再び新品として市場に戻すことが可能となります。

まずは石川県内での資源循環から着手し、今後はエリアを段階的に拡大していきます。既に域内プラスチック加工メーカーの馬場化学工業株式会社（代表取締役社長 馬場 貢）からご賛同頂いております。

さらに本事業は、資源循環の高度化および脱炭素社会の実現に資する取り組みとして、「令和6年度いしかわプラスチックリサイクル促進モデル事業」（石川県）に採択され、当該補助金を活用してプラント建設いたしました。

環境開発は今後も、廃棄物処理の高度化を通じて、真の地域循環型社会形成を目指していきます。

(※1) ケミカルリサイクル

使用済みプラスチックを化学反応によって分子レベルまで分解し、再び化学原料に戻すリサイクル手法。品質はバージン材と同等となるため、マテリアルリサイクル手法では衛生面や安全面で不向きな食品包装や高品質製品への利用が可能となる。

